

「住みよいまちづくり」に向けた集い
令和元年度第2回定例会（第14回）報告
（AED・応急救護体験 防災グッズ展示説明会）

日 時 令和元年6月16日（日）午前9時～正午
場 所 多摩の里 けやき園 1階 地域交流スペース
参 加 者 35人
〈地区住民18名、市外1名〉
〈関係者12名〉多摩の里けやき園3、市福祉総務課1、市防災防犯課1
東久留米消防署3、西部地域包括支援センター1
一期一笑1、防災まちづくりの会・東久留米2
〈社協4名〉大澤次長、岡野主査、大櫛主査、江連

配布資料（1）次第
（2）前回（4月21日）の話し合い（概要）
（3）平成30年度交流イベント「弥生地区秋まつり」活動報告
（4）出席者アンケート

1 挨拶

2 自己紹介／困りごと・気になること・取り組んでいることの共有

- 長年手伝ってくれた人が自治会を脱退する事になり、理由を尋ねると役員が出来ないからという事だった。高齢になり出来なくなるのは当たり前だが、一方で現役世代も働かなければならず、参加してくれるのにも関わらず離れて行ってしまう事が現状として起こっている。そういった気持ちをくみ取り、合わせるかたちをとって行かなければ、今後世代交代は出来て行かないのではないか。
- 自治会を脱退する方が年々増えている。自治会の魅力は色々あるが、地域を守るために必要な会なので、存続について皆で考えなければならぬと思う。ますます進む高齢化社会の中で、若い方が自治会の中に溶け込むことが出来なくなってくる状況を考えると、皆で一緒に対策を考えたいと思う。
- 滝山から引っ越してまだ日が浅く、知っている顔も少ないので近所の登下校の子ども達に挨拶をするなど、自分から積極的に声を掛けるようにしている。地域にうまく溶け込める様にすることが大切だと思う。そしてその子ども達を通じて、両親ともコミュニケーションがとれるようになっていく事をつくづく感じている。何か地域や東久留米の為に出来ないかと思い参加した。
- 今日は防災グッズなど、色々勉強になった。
- 現在市内小学校で用務員をやっている。そこで気になったのが、子ども達は交通ルールを守るのに高齢の方が守らない。子ども達はやらないが高齢者は傘をさして自転車を運転する等、まずは高齢者からルールを守って行かなければ地域は良くなるし助け合いもないのではないか。用務員をやってみて、つくづく地域の助け合いの大切さが分かった。

- 第2、第4土曜日に施設を使わせていただき、地域の方で集まり健康のために役に立てればと思いやっている（弥生健笑会 午前10時~11時）。男性の方も進んで参加して欲しいと思っている。
- 若い方や新居にお住まいの方に声を掛けようとしているが、輪の中に入って話しかけるのにとっても勇気がいる。なんとか地域に溶け込ませたいと考えているところ。
- サロン弥生（第二木曜日の午後2時~4時）を立ち上げた。お茶、コーヒー、紅茶、緑茶、そしてピアノを弾いて下さる方、男性の方でギターを弾いて下さる方が2人いらっしゃる予定。皆で歌を唄いながら楽しく2時間を過ごしたく計画を立てている。今日も会合の後に予行練習をする。木曜日は男性の方は参加が難しいかもしれないが、皆さんお誘い合わせの上、ぜひサロンへお越しください。
- 弥生1丁目の自治会（弥生一自治会）は、高齢者が多数の為、何年か前に無くなった。その時は仕事もしており、ご近所とも交流があった為、別に平気だと思っていた。でもお隣が急に足を悪くし具合が悪くなった事をきっかけに、もとは快活な方だったのが外に出たがらず、こちらからの接触も拒否する様になり、とてもショックを受けた。これからどうなるのだろうと不安に思った。一方では両側に若い方の家も建っているのだが、全くわからず、人の繋がりがどんどん薄くなっている様に感じる。親の介護もあり先行きが不安になり、皆さんがどの様に考えているか聞きたくて今回参加した。
- AEDをいじったのは今回が初めてで、いままでテレビなどでは観た事があったが、実際に体験して、自分の心臓がおかしくなってしまうそうならい力が必要で大変だなと実感でき、とても有意義だった。
- 最近通学路の問題が新聞にもよく載っているが、今まで通りの通学で良いのか。今まで事故は起きていないのは耳にしているが万全かどうか、信号の所に交通整理の人を出すかどうかなど、皆の意見を大いに聞かせてもらいたい。
- 先ほど傘を差しながら自転車に乗る事が挙げられていたが、私がいつも気になっていたのは自転車にはなぜバックミラーがついていないのか。自転車に乗っていると後ろの様子が分からず不安な事は必ずあるが、そういう時に右側だけでもついていたらミラーを見ながら安心して通行できると思う。また、弥生自治会の集会所で月に一回、第三火曜日午後2時から4時でお茶会をやっている。お茶会と言っても、ただ楽しくおしゃべりをする会です。ぜひ皆さまに利用していただきたい。
- 毎日近所の幼稚園から小2ぐらいの子達を援助している。お茶代やお菓子代などお金はかかるが、子どもと仲良くなれば親御さんとも挨拶するようになる。そういう関係を作っていけば、自治会の方も活性していくのではないかな。
- 自治会の高齢化に伴い、今回若い世代に自治会長をやってもらいたいという事で今回自治会長になった。自治会の高齢化が進む中で、若い世代に頑張ってもらいたいと言う話が出るのは、確かに役目だと思うし、頑張らなければいけない所ではあるが、先ほどの話にも合ったように、若い世代も負担に感じる人も多いだろう。これから少子高齢化の時代は避けて通れないので、高齢者の方が元気に活動していける地域が重要ではないか。高齢者が頑張れる地域づくりを考えていけたらと思う。

○弥生地区では地域をよりよくするための取組みとして定例会を重ね話し合いがされていると聞き今回は出席しました。よろしくお願いします。

○歌声喫茶など、気軽に参加できる場がこれからは一番大切だと思う。

事務局：ありがとうございます。これから各テーブルで話し合いをしていただき、全体で共有していきたい。また「サロンやよい」の開催周知について、皆様にはチラシ配布をご協力いただきたい。ただポストに配るのでは大体がゴミ箱行きになるため、何枚かお持ち帰りいただき、できる限り手渡しでお配りいただきたい。皆で関わるところはぜひ関わっていただき、一緒に盛り上げて行けたら良いと思う。

3 振り返り

事務局：この集いは、偶数月第3日曜日に定期的で開催している。困りごとなどを一人で抱え込まず、皆で考えて行く場。無理なく出来そうなことを始めてみる場となっている。(別紙：前回の話し合い(概要)読み上げ。)

4 協議・検討

事務局：今回は①交流イベント「秋まつり・防災訓練」②災害時に配慮が必要な方への支援③地区住民に広く周知するための広報やPRについて話し合っていたきたい。まずは資料『弥生地区「住みよいまちづくり」に向けた集い平成30年度交流イベント「弥生地区秋まつり」活動報告』を参考に①秋まつり・防災訓練についてどうやって盛り上げていくか、各グループで15分程度話し合いいただき、その内容の発表をお願いします。(各班に分かれて話し合い、各班より全体に発表)

【秋まつりについて】

第1班：

去年やった盆踊りと歌声喫茶がにぎやかで良かったと感じた。今年も続けたいと思う。また昨年フランクフルトをホットプレートで温め直して提供したが、今年も同じようにやっても良いと思うが、昨年参加した子ども達に、今年は違うなと感じてもらいたい。そこで自分の子どもの頃の記憶に強く残っている焼き鳥をやりたい。焼いてあるものを冷凍にして当日温めるだけにしたい。スタイルとしては今年のフランクフルトと同様にカップに入れて提供したい。塩味タレ味なども考えて行きたい。昨年良かった事を引き継ぎつつ、新しい事も取り入れて行きたい。

第2班：

子ども達に何か作らせたかどうかと考え、①大小様々な段ボールを集め子ども達に何か作らせる②子ども達に魚の絵を描かせ、色を塗らせ、マグネットを付けて「魚釣り」をしたらどうか。この2点を話し合った。また前回、お土産袋と飴玉(射的コーナーで提供)を子供がとても喜んでいて。防災訓練の方は、煙幕で煙を再現する設備が出来れば、煙を見るだけでも良いのでは。知人のレスキュー隊員が常々言っているのは「火より煙が怖い」。煙だけでも体験出来れば良いと思う。

第3班：

大体去年のやり方に沿った内容で良いと思うが、飲食で、フランクフルトは美味しかったので継続し、前回案として挙がっていた、焼きそばや豚汁といった何か縁日らしいちょっとした食べ物をもっと増やしたい。作り方として、倉庫のテラスなどの空いているスペースで焼けるのではないか。また、今回飲食を増やす場合は去年お土産にしたお菓子は無くて良いのではないか。引換券の代わりに食券としたらどうか。また歌声喫茶で20~30人集まって、ゆっくり座って楽しく歌ってお話して、お茶が飲めてフランクフルトが食べられる、これらは他の縁日では絶対に体験出来ない事なので、高齢者にとってはとても良い企画だと思う。

第4班：

紙や段ボールを切ってクリップを付けた自作の金魚すくいや、紙飛行機はただ飛ばすのではなく、トーナメント戦の試合形式にしたらもっと子どもに受けるのではないか。「だるまさんが転んだ」をスペースがあったらやりたい。めんこは、売っているところを探す。または色々な形を作る。

事務局：ありがとうございます。皆様から色々アイデアを出していただき、去年をベースにして、新しくやきとり、やきそば、魚釣り等のイベントの内容が出てきた。防災訓練については話を振り忘れてしまい、話し合いが出来なかったと思うが、本日防災防犯課の井上さんにお越しいただいていている。市内避難所運営連絡会で色々な取り組みをされているので、ぜひお知恵や情報などお願いします。

井上さん（市防災防犯課）：先ほどの煙の話だが、今週の3日間火災で、消火器を最終的に使うことが出来なかったということが結果として報告されている。実際に煙にまかれながら消火器を用いたり、誰かを助けることは難しい。秋まつりのイベント際の煙の件は、場所さえあれば基本的にはできます。

また、大きな災害が起きた場合、命を守るためだったら、逃げる場所はどこでも大丈夫。地域毎に避難所が設定されているが、火の粉が舞っているのを潜り抜けるなど危険を冒してまで設定場所に行く必要はない。同じ様に広いグラウンドや校庭がある学校、武蔵野神社でも大丈夫。ただし、それらの場所に地域の方が逃げられるだろうか。地域には色々な方がいて、実際に歩くのが大変な方も当然多くいる。地域の方が詳細な道を把握している中、誰が避難してきていて、誰がきていないかも分かりながら逃げられる、ということが地域防災で非常に重要である。

個人としては火災を起こさない様に気をつけることが大前提だが、その次に、地域で火災が起きた際に、安全な場所に皆を避難させられるかを考えて欲しい。必ず避難所でならない訳ではないが、自治会あるいはご近所で上手く連携して無事に避難所にたどり着けるか。訓練として考えるべき一つの材料にしていきたい。

事務局：ありがとうございます。防災まちづくりの会・東久留米では、各学校で防災の取組みに協力されているが、例えば学校での防災マップ作りなどの活動を紹介していきたい。

郷野さん（防災まちづくりの会・東久留米）：各学校と避難所運営連絡会で、学校長と地域の市議会の役員の方、防災防犯課とで発災時にどこに避難するかを話し合っている。避難所と避難場所は違う。一般的に避難場所は校庭、避難所は学校体育館で

ある。そこでどの様に過ごすか、事前に皆で地域の避難所訓練を行っている。

また、阪神淡路大震災では、約 85%の方が家具の崩壊・下敷きになって亡くなっている。各家庭では、家具固定など耐震補強をする様呼びかけている。最近もっとも心配なのは地震からの火災発生である。火災を防ぐためにはどうしたら良いか、最近感震ブレーカーと言うものがあり、地震の際は自動的にブレーカーが落ちる仕組みになっている。現時点で感震ブレーカーが取り付けである家庭はそう多くはないと思うが、ぜひ火災防止のために備え付けて欲しい。ホームセンターや防災用品関係を扱っているお店で取り扱っている。大体 3 千円程度から売っている。取付方法は説明書をよく見て取り付けていただきたい。これらの事を啓発している。

秋まつりの際は、簡易トイレの組み立て、段ボールの簡易ベッドの組み立てなど、防災防犯課の協力を得て、楽しく組み立てられたらと思う。

参加者：自分は用務員をやっている。気になるのは、体育館の入り口には、雨に濡れない様に庇が設置してあるが、先日大阪の方でその庇が崩壊すると言う事故が起きた。その為、父兄の方からこの体育館の庇は大丈夫かとよく聞かれる。学校は大体築 50 年ほど建っており崩壊するのではないかと、またすべてが崩れなくてもコンクリートの塊が落ちて一人、二人怪我をする人が出てくるのではと不安に思うが「危険」とは言えないので「大丈夫でしょう」としか答えられない。「避難所」と指定してするからには、市は確認するべきではないか。学校は築 50 年近く経っている。避難所として本当に安全なのか。避難所として機能するのか。

井上さん：学校は耐震の事を何もしていないわけではない。既に耐震化工事は全学校で終わっている。体育館に関しては、バスケットゴールなど様々な付属物や釣り物が取り付けられているが、それらの耐震化のチェックも基本的に終わっており、実際に工事を進めている。該当する庇の現状どうかは分からないが、基本的には学校耐震化は行われている。

ただ、実際に地震が起きれば、耐震化をしている所でも 100%かは分からない。ただ、避難所と設定している場所は一定の耐震化を続ける準備は出来ている。問題なのは、元々学校という場は元気な子どもが利用する事を前提にしか造られておらず、色々な人が避難して来た場合、バリアフリー仕様になっていないところが多く、今後の課題となっている。

参加者：確かに自分が働いていて、高齢者には大変だなと思うこと、車いすが通れないのではと思うところが多い。

郷野さん：実際に車いすを使って避難して来る人も出てくる。その時に学校の段差があるところなど対応して欲しいと言う話は出てはいたが、なかなか話が進まない現状。

事務局：ありがとうございます。話し合いの時間が残り 10 分と限られている。「秋祭り・防災訓練」の中で今日体験した AED をやるのが良いのか。別の訓練をやりたいなど意見があればアンケートにご記入ください。

また、先ほど井上さんから、自分一人で避難ができない人への対応が課題という話があった。災害時、直ちに避難所に行くのではなく、避難所に行く必要があるのかということも含めて、近所同士で一旦集まって安否を確認する行動が大切とのお

話をいただいた。実際に秋まつりの際に、こういった取り組みが出来るのか、また次回一緒に出来たらと思う。熱中症対策について野島さんからお話しがあります。

野島さん（西部地域包括支援センター）：消防署より、年々熱中症で運ばれる方が増えているとのこと。実際に自分で対策出来るのは『こまめに水分を取る』事しかない。高齢になってくると暑さに対する感覚機能が著しく低下する為、喉の渇き、暑い、寒いといった感覚が衰えてくる。相談員の中にも、自宅を訪ねるとエアコンが入っておらず、全部閉め切りで蒸し暑い状態の家もあるそうです。本人に尋ねても暑くないと答えるが、朝から寝るまで少しずつ飲んでいただければと思う。着衣も、真夏でもセーターを着ている方もいるが、なるべく季節に合った服装をしていただきたい。市内には各地区センターや地域センター、高齢施設など、暑い時に涼める場所がある。もし日中自宅で暑さをしのげなければ、大型ショッピングセンターなどで涼む事も可能かと思うので、ぜひ無理なく暑さを我慢せず、喉が渇く前に対処してほしい。

前に青い小さいカードをお配りしたと思うが、万が一救急車搬送される際に記入して冷蔵庫などに貼っておくと良いとの事でしたが、こちらを手帳代わりに財布などに入れて持ち歩くと、自分が倒れた時に役に立つのでご利用ください。

事務局：ありがとうございます。では定例会終了となりますが、最後に中谷課長からお願いします。

中谷さん（市福祉総務課）：皆様、長時間お疲れ様でした。私も今回初めて参加させていただいたが、色々活発なご意見を伺いました。地域の中での自治会の加入率など皆さん心配されている所が多いかと思いますが、参加率も含めて今後こういった取り組みをしていくか、また皆様と話し合っていたらと思いますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。本日はお疲れ様でした。

事務局：以上で第2回定例会を終了させていただきます。次回は8月18日のお盆明けとなります。本日は2名の方に会場設営、資料配布をお手伝いいただきました。この後の片づけなど、お時間のある方はご協力いただきたいのと、次回も30分前にお越しいただき、一緒に準備ができたらと思いますのでよろしくお願いいたします。本日はお疲れ様でした。

以上

弥生地区「住みよいまちづくり」に向けた集い 令和元年度 第2回定例会（第14回）出席者アンケート

- ・日 時 令和元年6月16日（日）午前10時20分～正午
- ・場 所 多摩の里けやき園 地域交流スペース
- ・参加者数 体験20人 会合18人（他 市外1人、関係者9人、社協4人）
- ・回 答 数 11件（61.1%）

1. AED・応急救護体験 防災グッズ展示説明会の感想をお聞かせください。

- 無いよりはあった方が良かったと思った（機械自体初めて見た）。
- 体験を実際にできたのは良かった。AEDの場所がわからないと思った。
- 初めて使用方法を見学できました。大変良かったと思います。
- 担当の方の適切な説明で、体験出来た事でも、自信を持って緊急時に対応出来るのではないかと思います。ありがとうございました。
- 参考になった。AEDをはじめて使った。
- 体験できて大分参考になり、良かった。
- AEDの体験ができて良かったです。
- AED三年前経験しましたが、改めて今回確認出来、良かったと思います。防災グッズも知らない物など手にとって知ることができて勉強になりました。
- AEDは、もしもの時に非常に役に立つと思うが、回りの人の助けもかりることが大事である事。
- 一度ではなかなか分からないので何度かそのような機会を作って欲しい。

2. 定例会の感想をお聞かせください。

- 今後、より良い方向に行けばいいと思う。
- 防災訓練について、各自治会で避難訓練ができるとよい。消防庁HPで避難方法の講習動画が見れる。
- 各自治会から言いたい事を言う場にして行きたい。
- 皆さん、積極的に意見交換しているが、もう少し40～50代かそれ以下の世代の参加者が必要と思う。
- 自分の生活や地域のことが理解できてうれしい。
- 新しい人の参加もあり、色々な意見が聞けて良かった。
- 少しでも地区の事を知ることが出来、自分の出来る事を少しずつでも協力していければと思っています。
- 二か月に1回の定例会でいろんな意見がでることで今後の地域活動に役立たせたい。
- 若い人の参加も必要。

3. 弥生地区で皆と力をあわせてできそうなこと、やってみたいことは何ですか。
思いつくものがありましたらご記入ください。

- 今後の話し合いで、決まっていくと思う。
- お話にもありましたが、防災訓練を実際にやってみたい。実際にできるかわからないが現実化すれば、互いの様子もわかり、つながりもできるかもしれない。現状どこにどう避難すればよいかはつきり伝わっていない家も多いと思う。
- やはり年1回のお祭りを続けることだと思います。
- もっと気軽にあいさつ、おしゃべりできる顔見知りを増やせる行事。例えば今回のAED、応急救護体験のような世代を超えて集まれるイベントの企画を開催できればと思います。
- 防災訓練
- 歌声喫茶「サロンやよい」が成功してほしい。
- 少しずつでも行事ごと声かけを心がけたく思います。

4. 本日の定例会は、何を見て知りましたか？

- | | |
|---------------|----|
| ア 郵便での案内文・チラシ | 8人 |
| イ 自治会の回覧やお知らせ | 6人 |
| ウ 近所の人から聞いた | 0人 |
| エ その他 | 0人 |

5. 定例会の開催案内を希望する方は、下記にご記入ください。

- | | |
|------------------------|-------------|
| ① 集い開催の案内を希望する | 0人 |
| ② 参加はできないが、できることは協力したい | 2人（弥生1、弥生2） |
| ③ 興味がない | 0人 |
| ④ 既に関催案内は届いている | 10人 |

6. 現在気になっていること、困っていること、解決したいこと、定例会で話し合いたいこと、地域福祉コーディネーターへの要望等がありましたらご記入ください。

- 自治会がない上、高齢化がすすみ、ご近所の交流でさえ途絶えがちで、今後が不安である。
- 色々な行事を開催出来るよう、企画、協力よろしくお願いします。「煙体験」はぜひお願いします。
- 地域の高齢者（60～70歳ぐらい）からリーダーがほしい。子ども（小中学生）と、定年世代の交流が広がってほしい（例えば朝の通学見守りなど）。
- 秋まつりにAED体験ができればいいと思います。

7. 年齢性別など、よろしかったらご記入ください。

- | | |
|--------------------|-----------|
| ○ 弥生台自治会（弥生1丁目） | 男性1人、女性3人 |
| ○ 東久留米弥生自治会（弥生1丁目） | 男性1人 |
| ○ 未加入（弥生1丁目） | 女性2人 |
| ○ 無回答 | 4人 |

以上

「住みよいまちづくり」に向けた集い 令和元年度 第2回定例会（第14回）

日時 令和元年6月16日（日）午前9時～正午

場所 多摩の里 けやき園 地域交流スペース

次 第

1 挨拶

2 自己紹介／困りごと・気になること・取り組んでいることの共有

※7/11（木）より歌声喫茶「サロンやよい」（毎週第二木曜日 午後2時～4時）

3 前回のふりかえり

4 協議・検討

（1）交流イベント「秋まつり・防災訓練」

（2）災害時に配慮が必要な方への支援

○ 街角防災訓練（少人数・短時間・近所同士）、防災マップづくり

（3）地区住民に広く周知するための広報やPR

5 その他

※ 今後の予定

・「住みよいまちづくり」に向けた集い（けやき園 地域交流スペース）

日時 8/18（日）午前10時～正午（集合：9時半）

弥生地区「住みよいまちづくり」に向けた集い 前回（4月21日）の話し合い（概要）

○ 気になること、気づいたこと、取り組んでいること

- 高齢化で自治会での催しや講習会等を止めざるをえなくなったが、この集いの活動に積極的に参加し、協力し合えば経費節減にもなるし、住民や子どもの顔を覚えられる。
- 年寄り世帯が多くなるとお互いに助け合わないとうまくいかない。
- 自治会活動を参加しやすい形にするため、会長は一年引き継ぎでの交代制の議案を通してもらった。
- お茶会（毎月第三火曜日の午後2時～4時、弥生台集会所、会費 100 円）は弥生だけではなく小平近隣の方でも気軽に寄っていただきたい。
- タバコの吸殻が多いのが気になる。
- 歌声喫茶「サロンやよい」を具体化したい。

○ 交流イベント「秋まつり」について

- 11月17日（日）（前日準備：16日（土）午後）、防災訓練もあわせて開催。6月頃からイベント内容を検討して決めていく。

【内容】

- ・前回の内容（輪投げ、射的、ぶんぶんゴマ、折り紙、紙ヘリコプター）に加え、大きいカルタ、石蹴り、けんけんぱなどの「昔あそび」
- ・焼き鳥、焼き芋、焼きそば、地域食堂（子ども、一人暮らし高齢者など）
- ・歌声喫茶、煙体験、AED体験、心肺蘇生訓練

【運営方法】

- ・若い世代の母親だけではなく父親も参加できたら、その場で役割分担を決める。
- ・第九小・西中地区青少協、子ども会の方々にも話し合いから一緒に参加してもらい、一緒につくっていくことで、集いの場にも入ってきやすくなるのではないか。

○ 災害時の対策について

- ・消火器は消防署が設置していたのか？ ← 設置や設置場所の把握はしていない。
- ・AEDの設置はどうか？ ← 一切関与していない。各施設の財物なので勝手に設置場所を公言することはできない。

○ 住宅火災について（東久留米消防署）

- ・昨年の市内火災件数27件の内、20件はガスコンロ周辺、電気ストーブ、タバコによるもの。早い通報で大きな火災は減っているが、死者数は減っていない。理由は高齢者が多くなっているため。逃げ遅れて煙にまかれて亡くなるケースが増えている。
- ・最近の増加傾向は、電気配線から火災が発生するケース。タンスの下で配線がつぶれて破損、コンセントに埃がたまっている、ストーブや扇風機など季節家電の配線が劣化しているなど。着衣に燃え移ってしまうケースで多いのは、仏壇のろうそくやガスコンロによるもの。以上を気をつければ火災は減ると思う。

● 出席者アンケートでの感想や意見

- 若い人も一緒に考えるようにしたい。
- もっと参加者が増えるとよい。
- 集いを重ねるたびに意見がたくさんでるようになったのが良い。
- 消防署のお話がとても参考になった。
- 夕方の食堂（誰でも参加の）試しに一回やってみたい。けやき園の協力を得て。
- AED体験、煙体験、防災グッズの展示もお願いしたい。
- 災害時のペットの扱いについて、話し合いと各家庭のペット状況など情報共有できれば
- だんだん近所の方の顔もわからない状態が増えてきているので、色々な会合を催してご近所つきあいが広がるようにしていきたい。